



奥

村さんは昨年11月、めでたく秋の藍綬褒章を受章されました。

「藍綬褒章」とは、公衆の利益や公共事業に貢献した人に授与される褒章です。奥村さんは今回、社会福祉関係で受章されました。知らせを受けた時は、突然のことで驚きと戸惑いが隠せなかったそうです。平成元年1月1日付で主任児童委員として委嘱状を受けてから30年余り、多くの仲間たちと児童館に来訪する子育て中の親子との雑談の中から、悩みや喜びを語り合うこともあったとのこと。孤独になりがちな子育ての中で笑顔を見せて帰って行く後ろ姿に安堵し「また来てね！」と手を振っていたことを懐かしがっていました。

産声を上げたばかりの制度の中での活動は試行錯誤の連続。行政の熱い支援のもと、定例会や視察研修などで強い連帯感が生まれ、活動の幅が広がり、さらに

キラリ話題の人

奥村 美佐子^{みさこ}さん

社会教育委員



たくさんの仲間に支えられて

県民生児童委員協議会主任児童委員活動研究会部会長に任命され、新たに立ち上げからの活動が始まったそうです。また、県民生児童委員協議会理事に推薦され、主任児童委員の活動範囲が県内全ての地域の声を聞く研究会となったそうです。

奥村さんの原点といえる子ども会活動は「良き先輩指導者に恵まれ多くのノウハウを学ばせていただいた」と力強い言葉でした。

現在進行形で生涯学習課、中学生ボランティア研修会「ここととゆうす」講師の一人として、こどもの国事業にはオピニオンリーダーカタクリの会の一員として参画されています。

これからも、楽しい頼りになる仲間たちとともに、ボランティア活動を続けていきたいと言っていた奥村さんです。

晴れの受章、誠におめでとうございませう。

(市民記者 葛貫郁子)

ようこそ 市長室からこんにちは！



佐野市長
金子 裕

気付けば年度最終月の3月です。市長になって4年目となりましたが、ありがたいことに、市民の皆さまとお話する機会も増え、令和6年度も瞬間に過ぎていくような感覚でした。

今日は本市の最近の話題について何点か触れていきたいと思えます。

まず始めにシニア地域デビュー手引書についてお話しします。昨年12月にシニア世代の方々が地域とつながるきっかけとなり、生きがいを持って生き生きと生活できることを目的として手引書を作成しました。

手引書では「地域デビュー」をするための第一歩として、自分を見つめなおす「今活」をお勧めしています。今活とは、これまでの自分の人生や生活を振り返り、興味があるものなどを再認識して、楽しく生活していくことができるようにする活動のことです。手引書では、趣味活動やボランティア活動など地域デビューに関するメニューを多く紹介しており、これから地域

活動を始めたいと希望している方を応援してまいりたいと考えております。

次に、1月20日にイオンモール佐野新都市内にオープンした佐野新都市行政サービスセンターについてお話しします。一部の休業日を除き、午前10時から午後8時まで土日・祝日も含めて開所しておりますので、市役所の開庁時間ではお越しいただけない方なども、ライフスタイルに合わせてご利用いただけます。現在、証明書発行や印鑑登録、転入・転出などの引越手続き、出生・婚姻などの手続きができますが、対応していない事務や対応できない時間もありますので、市ホームページなどでご確認の上でご利用をお願いいたします。

3月は卒業のシーズンです。11日には中学校、18日には小学校の卒業式が行われます。学び舎や職場など、いろいろな卒業があります。卒業される皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、更なる活躍を期待しています。

歴史ある山城

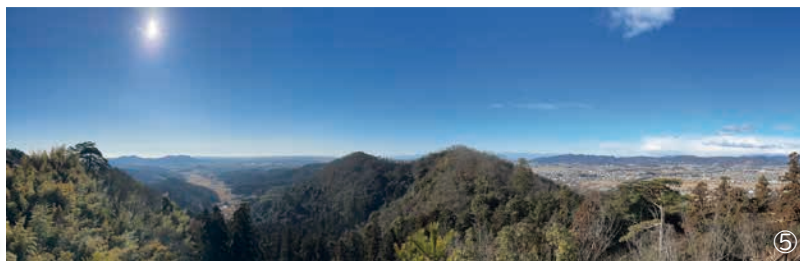
佐野氏が守り抜いた唐沢山城

皆さんもご承知のとおり「国指定史跡唐沢山城跡」は、戦国時代に作られた関東一の山城です。

唐沢山城は、越後の上杉謙信に何度も攻められ、また同じ時期に小田原の北条氏にも攻められました。しかし、なんとか持ちこたえることができました。そして城主の佐野氏は、小田原征伐では豊臣方に付き、関ヶ原の戦いでは徳川方に付き領地を守り抜きました。

他にも唐沢山城に関する歴史はたくさんありますが、難しい歴史が分からなくても、なぜ佐野氏が領地を守り通すことができたのか、また、なぜこの佐野の地に山城が作られたのか、高石垣、土橋、曲輪、堀切、たてぼり 豎堀などの遺構、そして江戸を見下ろすことができる天狗岩からの眺望で納得できるはずです。

(市民記者 中里 聖子)



- ① つきとやの土橋 ② 高石垣
- ③ 大岩を生かし入り口を狭めている千騎口
- ④ 本丸西虎口鏡石 ⑤ 天狗岩からの眺望



イオンモール佐野新都市に新しく 佐野新都市行政サービスセンター開所

1月20日(月)、イオンモール佐野新都市の専門店街2階グルメコート内に「佐野新都市行政サービスセンター」がオープンしました。

同センターでは、住民票などの証明書発行や印鑑登録、転入・転出などの引っ越し手続き、出生や婚姻などのお祝い手続きができ、平日だけではなく土日・祝日も午前10時から午後8時まで営業しているため、さまざまなライフスタイルに合わせて利用することができます。

また、順番待ち予約や各種手続きのご案内、手数料の支払いなどにデジタル技術を取り入れたスマートな窓口スタイルとなっていますので、ぜひご利用ください。



昭和26年から続く 第75回大澤駅伝競走大会

2月2日(日)、清酒開華スタジアム周辺において大澤駅伝競走大会が開催されました。

高校男子の部では相洋高校が、一般・高校女子(21.0975 km)では順天高校が、一般男子(42.195 km)では日本体育大学が、一般男子(21.0975 km)では富士山の銘水が優勝をつかみ取りました。

参加いただいた選手・関係者の皆さん、沿道で応援いただいた皆さん、お疲れさまでした。

また、交通規制にご協力いただき、ありがとうございます。